

# コグニザントジャパン 会社概要

## Cognizant Japan Company Outlook

2024年度 第3四半期

# コグニザント会社概要

## Company Outlook

### 本社: Cognizant Technology Solutions Corporation

[www.cognizant.com](http://www.cognizant.com)

設立年度:	1994年	グローバル本社:	従業員数:	売上高 (2024年度第3四半期):	上場市場 Nasdaq CTSH (Class A)
CEO:	Ravi Kumar S	米国 ニュージャージー州 ティーネック	約34万人	5.0B USD (約7,500億円)	NASDAQ-100 component S&P 500 component
Forbes Global 2000	#629	オフィスロケーション:	地域別比率:	調整後営業利益率 14.6%	
Fortune Sector Leaders for Technology	#24	37か国 300拠点	<ul style="list-style-type: none"><li>米国: 74.0%</li><li>欧州: 19.0%</li><li>その他: 7.0%</li></ul>	FY 2023 Revenues: \$19.4B	
Forbes World's Best Employer 2024					

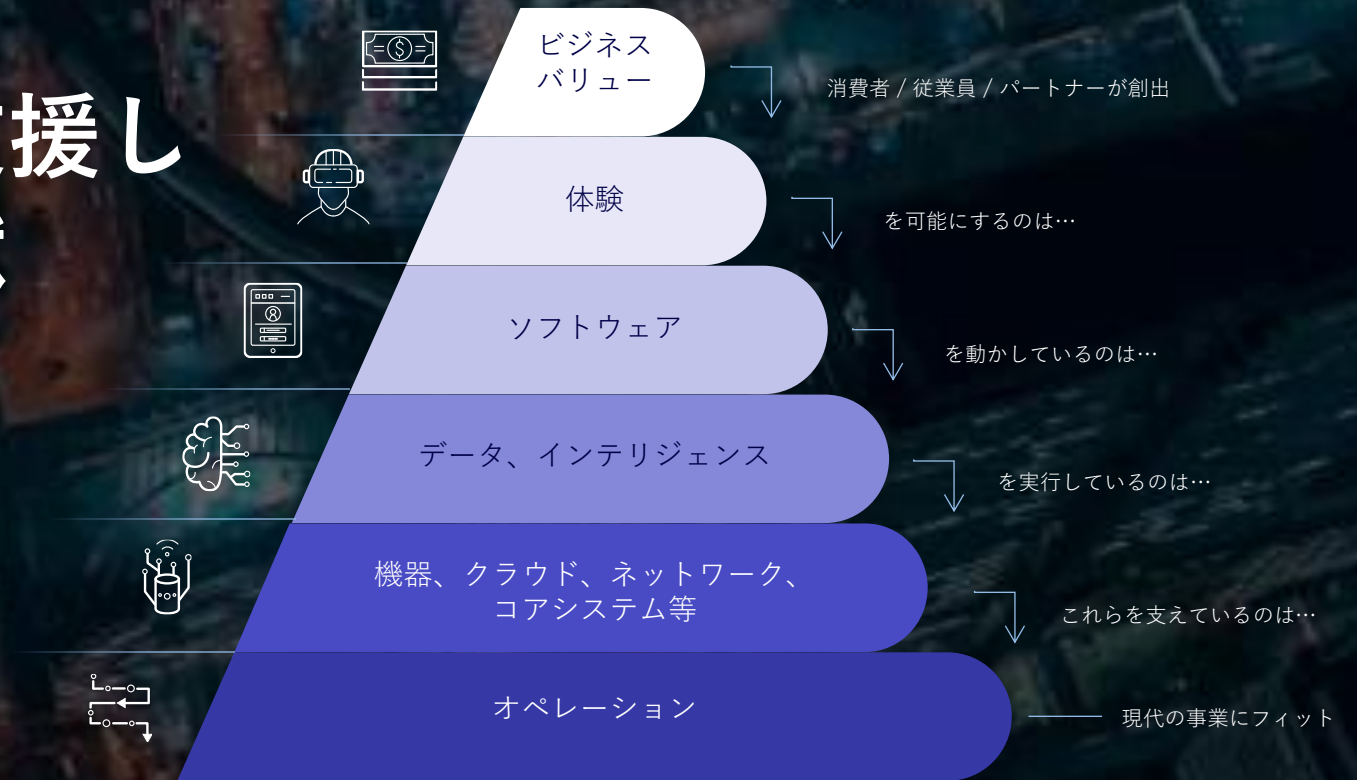
### 国内法人: Cognizant Japan KK

[www.cognizant.com/jp/ja](http://www.cognizant.com/jp/ja)

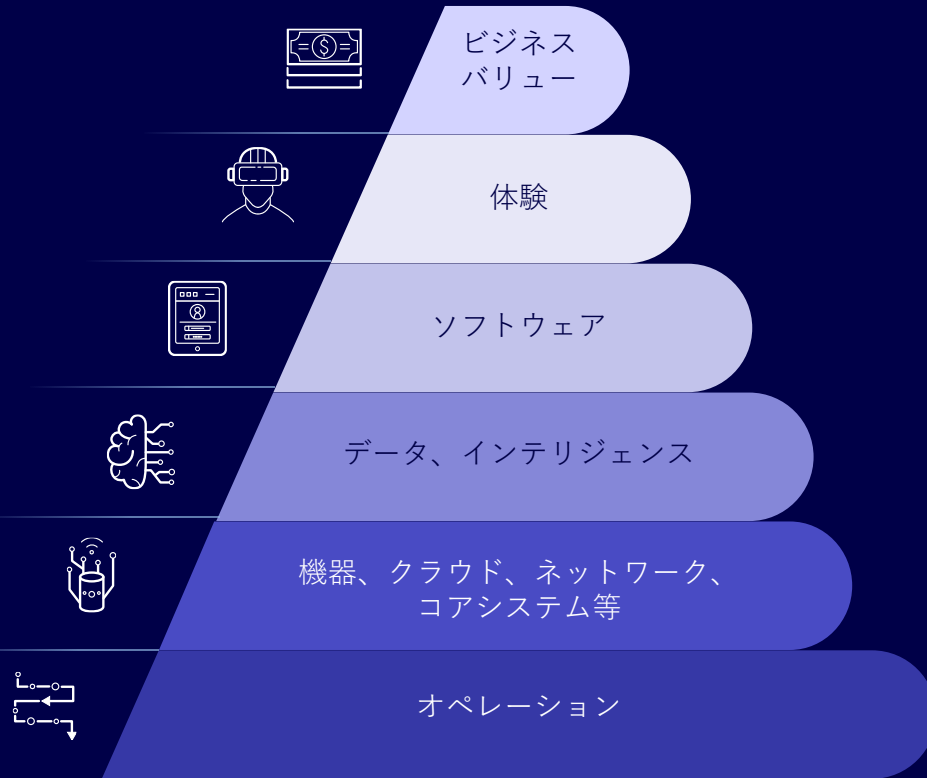
設立年度:	2008年	東京本社:	従業員数:	主な業界:
CTS100%子会社		〒102-0083 東京都千代田区 麴町2-1 PMO半蔵門	約1,000人	保険、医薬、医療機器、金融、製造、流通、テクノロジー
社長:	村上申次	03-4563-8300 (代表)	国内顧客数:	コグニザントジャパンの強み:
			80社	<ul style="list-style-type: none"><li>欧米のデジタルビジネス事例の日本の展開能力</li><li>日本の人員構成 (全社員の50%バイリンガル)</li><li>人材確保のスピードと能力 (社内・社外)</li><li>デジタルビジネス比率 (日本を含めグローバルで51%)</li><li>ビジネス形態の柔軟性</li><li>パートナー戦略 (日本と実績のあるパートナーとの取組み、グローバルの戦略パートナーとの取組み)</li></ul>

# ビジネスの近代化を支援し 人々の生活改善に貢献

当社の目的はテクノロジーによってお客様とその顧客、そしてコミュニティに利益をもたらすことです。



# ジャパン フォーカス・ソリューション



デジタルエクスペリエンス	製品やサービスを作る上で、利用者の心地よい経験を重きにおいた開発手法で、顧客や従業員の満足度向上につなげ、デザインし、インターフェイスを刷新、実装。
モノのスマート化	様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み提供するサービス。
ソフトウェアの近代化	レガシーシステムを刷新し、デジタル化が加速する世界で拡張性が高いクラウドをベースとしたアプリケーションの俊敏性向上を支援。
品質保証の自動化	多大なコストをかけている品質保証(QA)に対して、自動化を取り入れ、問題点をリリース前に可能な限り排除する現代的なテスト方法論を取り入れたサービス。
業務処理の自動化	経理、総務、営業事務、人事などあらゆる業務処理作業などのプロセスの自動化を通じて、多大にかかっている工数と費用を削減するサービス。
人工知能分析	人口知能分析とは人工知能がデータの傾向を分析し、過去・現状把握から未来の予測に対して判断を行うことであり、その仕組みを提供するサービス。
デジタルワークスペース	いつでもどこでも同じ環境で快適に働ける、かつ生産性と効率を高めるデジタルな仕事空間を支援するサービス。
BPO（ビジネスプロセスオペレーション）	限られた人的資源は生産、営業等の利益を直接生むコア業務に関わらせ、ノンコア業務（総務、経理、人事、営業支援、その他の管理業務等）は受託するサービス。

# 事例と効果

ソリューション	一部の事例	効果
デジタルエクスペリエンス	ロンドンの百貨店 M&S に対して、レジ支払いを顧客のスマートフォンを使ってM&S専用ウェブアプリを通じて商品タグをスキャンし、支払の迅速化を行った。	レジ端末と従業員数の削減 売上の向上と顧客エクスペリエンスの向上
モノのスマート化	米国Fortune 50製薬会社が買収を行い、工場などに導入している古い工作機械を管理するアプリケーションや製造プロセス等を一新した。	工場の運用コストを平均で15%–30% 削減 メンテナンスコストを平均で10%–40%削減
ソフトウェアの近代化	世界で有数の投資会社の100以上のレガシーアプリをDEVOPS環境下での開発可能なマイクロサービスアプリに移行。	プロビジョニングの工数50%削減, CI/CD自動化プロセスの実現により開発スケジュールの25%短縮が実現
品質保証の自動化	英国小売業界大手のセルフレジPOS端末を24X7で継続品質保証テスト実施。世界的なバイオ製薬会社に対してS/4 Hana移行テストサービスを提供。	50%の工数削減
業務処理の自動化	毎日10万件の保険給付申請処理を行っている保険会社に自動化ツールの展開(100以上のBOTの導入)とAIを用いて既存のワークフローの自動化のサービスを提供。	保険給付申請処理時間を600%速めた 年間\$15Mのコスト削減。
人工知能分析	コンビニエンスストアに対してセールスデータやサプライチェーンのデータ分析を刷新し、予測分析能力を強化するサービスを提供。	予測分析能力の強化により20%の売上増加 ROIを6カ月達成
デジタルワークスペース	メディカル情報を提供する会社に対して2000人の従業員のデスクトップのアプリケーションをAWSクラウドベースのワークスペースサービスに移行した。	TCOの30%削減 従業員の満足度向上、セキュリティの強化
BPO（ビジネスプロセスオペレーション）	ヨーロッパの製薬会社に対してISCR基準にそったオペレーションを提供。自動処理によって年間250K件の個別症例安全性報告書を処理した。	72万時間の工数削減 30%の処理時間の削減

# ありがとうございました。

私たちは、テクノロジーが日常業務を向上させるための  
有意義な方法と一緒にを見つけることができます。

現代のビジネスをエンジニアリングする  
See how at [www.cognizant.com/jp/ja](http://www.cognizant.com/jp/ja)